

山寺通信新年号

本年もよろしくお願ひします。今回は、陶器の急須に替わるステンレス茶器の紹介をします。当社は、数年前にアリババに掲載した経験を活かし現在中国製品を工場からすべて直接輸入しています。宜興から急須を輸入していた経験からクオリティーの高い製品の輸入を始めました。今回紹介する商品は、二社から仕入れています。ステンレスの表面には、不動態化皮膜が形成されます。この皮膜は、ステンレスを錆びから守ります。酸化皮膜は新たに塗装や別の金属皮膜などを形成するわけではないので、食品衛生法にも適した皮膜となります。お茶などの食品の味に変化を起こしません。どちらかと言うと味は良くなります。又このステンレスドリッパーは、二層メッシュなので普通のコーヒードリッパーよりメッシュが細かくて、ほとんど粉末が出ません。珈琲ペーパーは必要ありません。さらに洗浄もとても簡単です。世界中ステンレス食器が使われており珈琲の場合コーヒの油脂が濾されることなく抽出されるので味ははっきりすると言われてています。現在社会は三世代で構成されていますが、同じ嗜好品でも飲食の仕方が変わっています。ドリッパーでは、茶葉の量、湯の注ぎ方、入れ方が従来の茶器とは変わりますが、生活習慣の違いに対して対処しやすい場合もあります。生活スタイルにも影響を与えるかもしれません。

持ち手付吊り下げ籠網付



内側sus304.600xミ
シト外側300xミ



そのまま使えます 洗浄も簡単です

